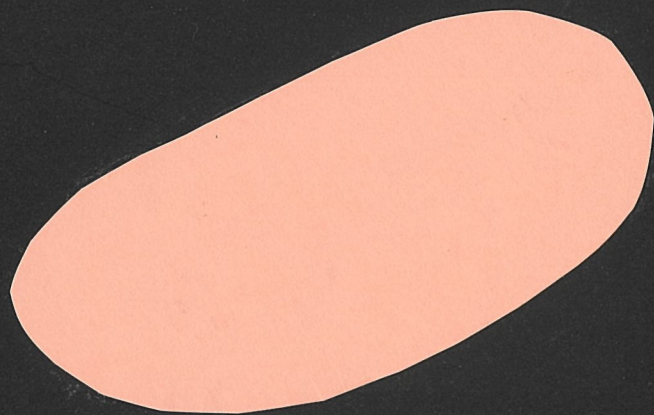


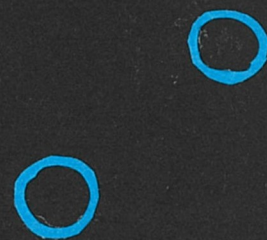
まいごのプラヌラ



鈴木 あみ香



まいごのプラヌラ





わたしは ちいさな プラヌラ

きれいな まんげつ<sup>まんげつ</sup>のよる わたしは うまれた

わたしは ひとりぼっち

ひろいうみのなかまいごになった  
すむばし<sup>すむばし</sup>を さがしている







ずっと およいでいると

ゆらゆらちかづいてきた

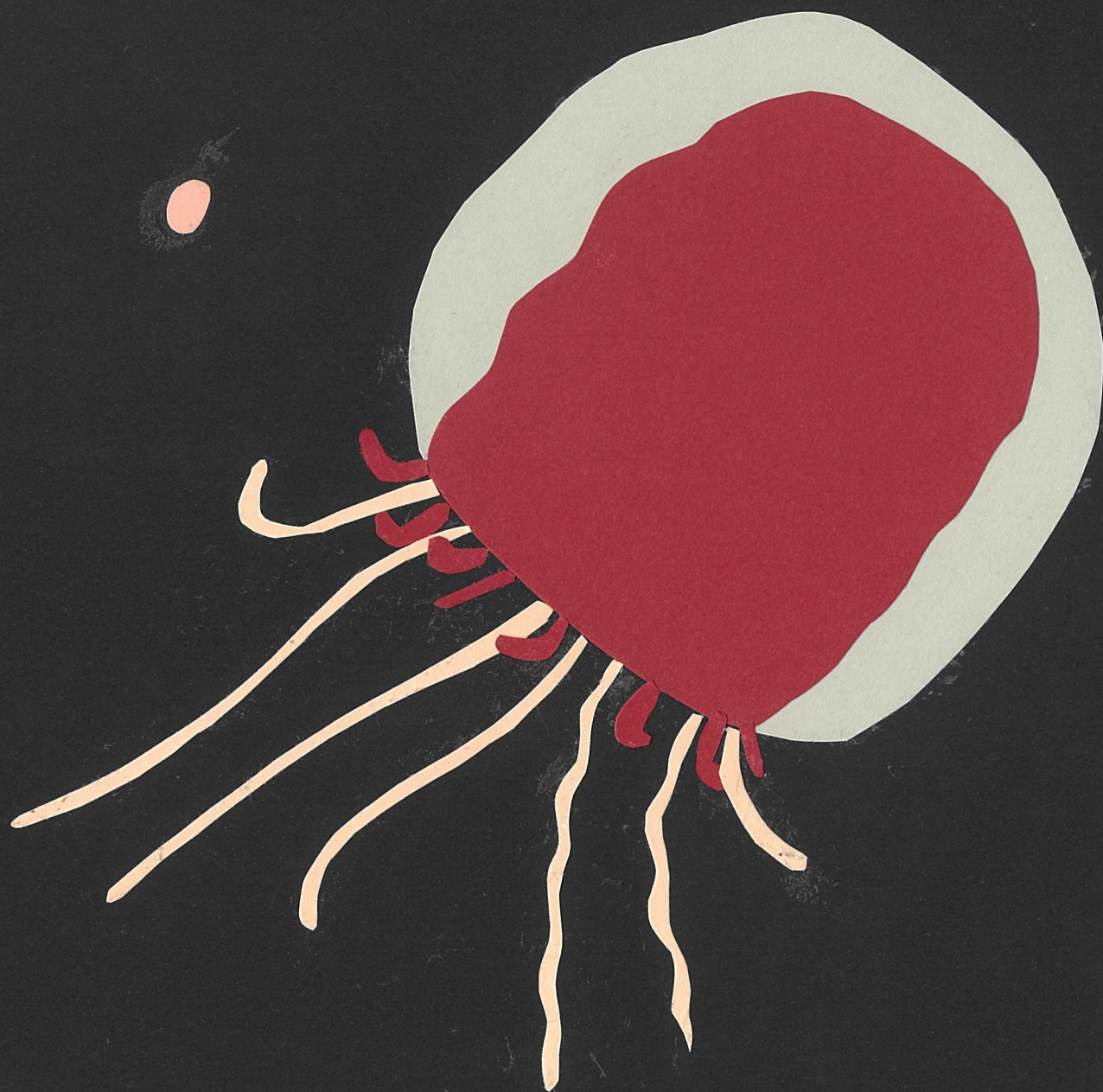
「やあ ぼくは アカチョウチンクラゲ

ここは ひかりが とどかない セカイ

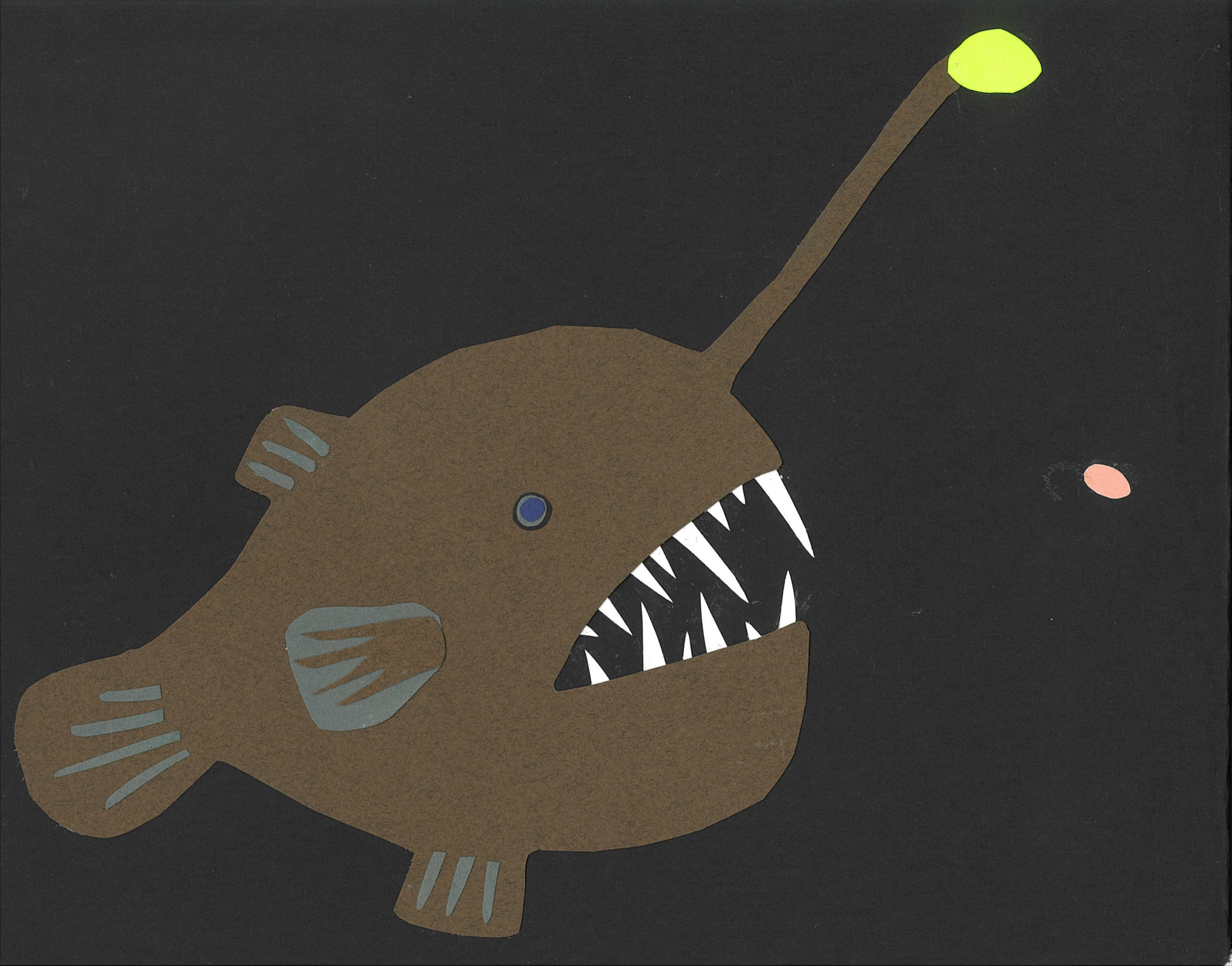
せなかに のって いいよ」

くらくてこわいけど セなかは あたたかい











たどりついたのは

もっくらい もっふかい うみ

するととつぜんひとつぶの あかり

「わたしは ペリカンアンコウ

てらしてあげる いっしょに およごう」



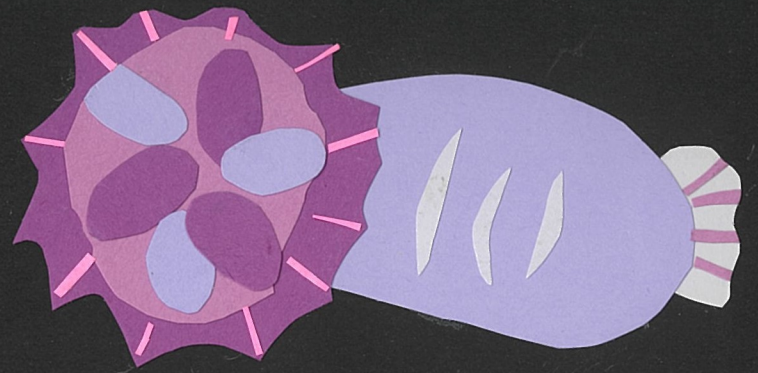
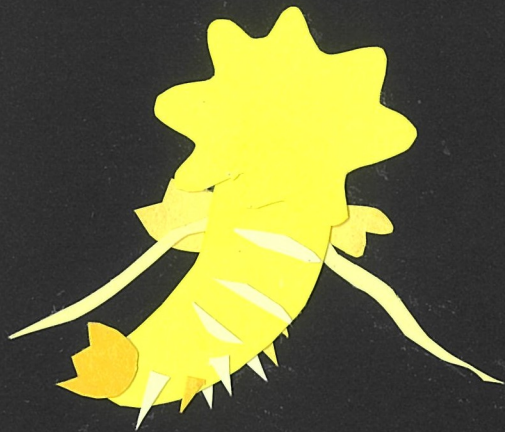
ひかりのさき

「いっしょにおどろう」

いちとりどりのなまこが やってきた



「わたしはユメナマユ」



「わたしはウカレウツナマユ」



「ぼくはマイクツガタナマユ」



いっしょにおどっていると  
ひえたからだか あたたかくなっていた



わたしは こころに きめた  
ここであそぶ

わたしは うみのそこの  
はじめて すわった

つぎのあそ

びをさました わたし

からだがおはなのかたちにかわっている



もう およぐことはできない  
でも だいじょうぶ

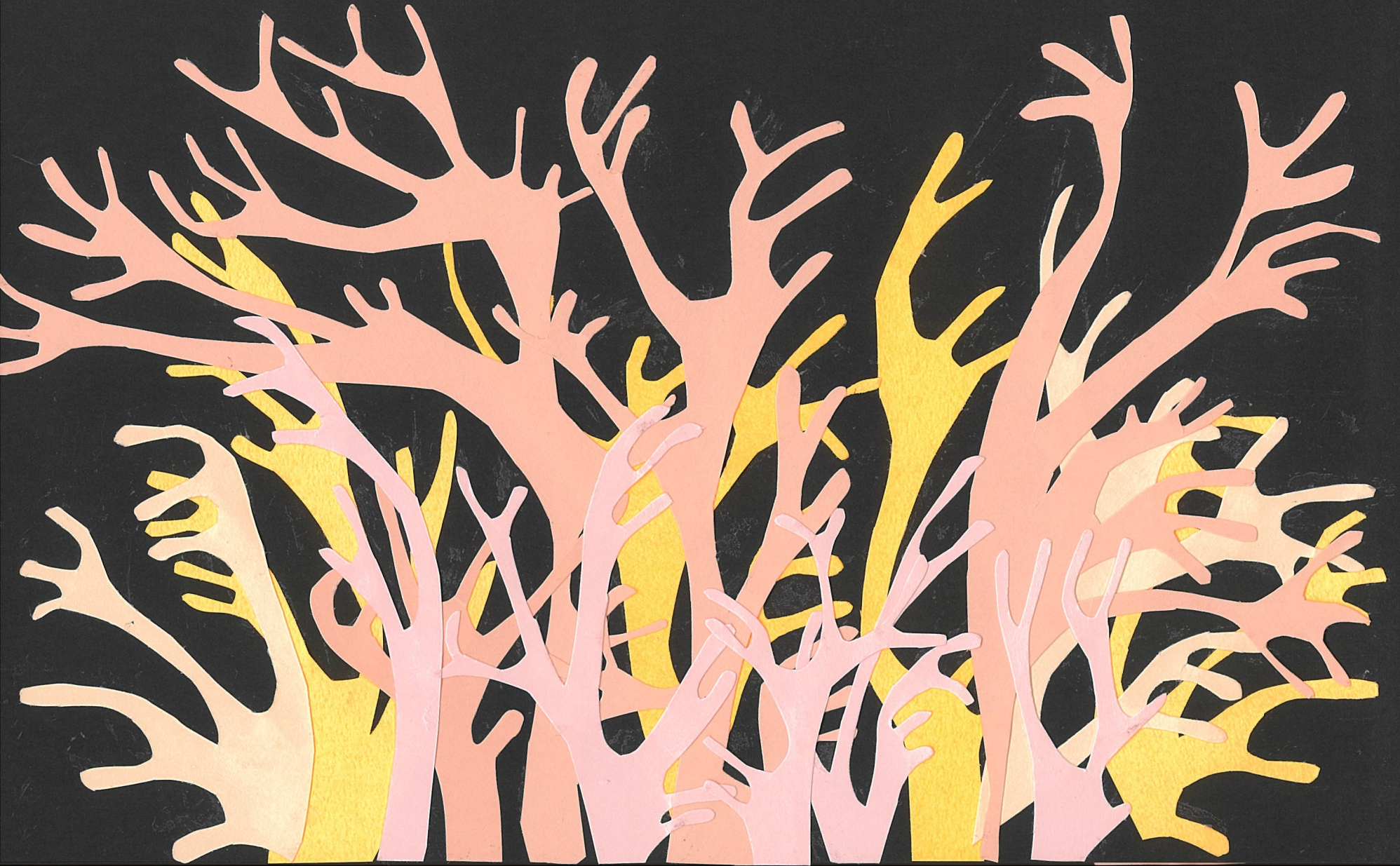
しおのながれに みをまかせ  
ゆらり ゆらり





つきひはながれ

わたしはおおきくなった





わたしは トクササンゴだったのだ

だいすきな ばしょ

だいすきな なかま



そしてまんげつのはる

わたしはさんらんをした





たいようの ひかりが とどかない

ふかい ふかい まくらな しんかいは

とてもあかるく やさしさが あふれている



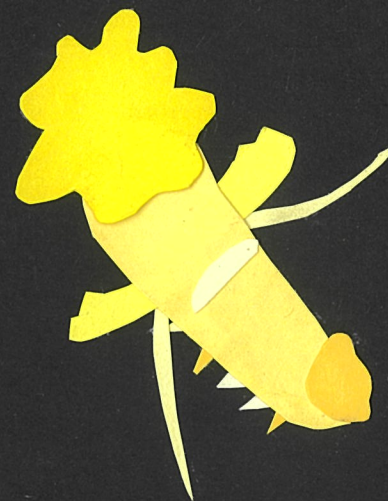
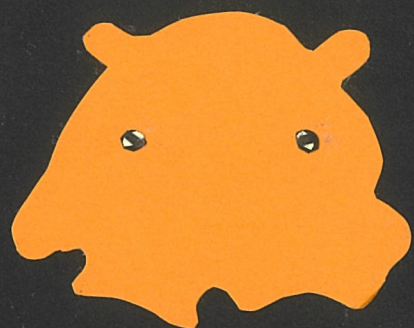


# あ と が き

私は、海の生き物の大切な住み家のサンゴが大好きで、三年前より研究を続けています。その中で、光が届かない深海にもサンゴがいることを知り、とてもおどろきました。この絵本の中に登場するトクササンゴのプラヌムカ生は、生まれてから固着するまでのわずか二週間だけ、泳ぐことができます。いろいろな出会いをくり返しながら、一生住む場所を探すプラヌムの神秘的な旅路を想像しながら絵本をかきました。高い水圧のかかる環境でくらせるように姿を進化させてきた生物の特徴の面白さを表現できるように工夫しました。この絵本が深海やサンゴ、また、生きるということの美しさ、奥深さに気づき、かけとなり、海を大切に思う気持ちにつながることを願い、つくりました。

鈴木 あみ香





種別 個人  
応募番号 01623  
部門 創作部門：工作  
作品名 まいごのプラヌラ  
お名前 鈴木 あみ香  
学校・団体 東洋英和女学院小学部  
学年 5年

《作品郵送先》「海とさかな」自由研究・作品コンクール係行  
〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富236-1 TEL：049-274-7814